



創立148周年

2月号（令和4年2月1日発行）

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

くろがね

鉄の“まち”ならではの地域行事

副校長 本間 秀司

暦の上では2月3日の節分、4日の立春を経て、「春」なのですが、まだまだ寒さが厳しく、1年の中でも最も冷え込む時期となります。春の訪れを心待ちにしています。

さて、1月は、地域の行事に参加させていただきました。一つは、15日に鉄の“まち”の2ヶ所で行われました『どんど焼き』です。田んぼの真ん中に青竹やわらでやぐらが作られていました。ニュースで見るとどんど焼きの光景です。この鉄では普通のことのように行われていますが、私にとってはとても新鮮です。地域の皆様のご尽力により、感染症対策を十分に行い、参加者の皆様もディスタンスを保つことなどにより実施されました。行事实施に向けた役員の方々の並々ならぬご努力に頭の下がる思いです。どんど焼きとは、年末年始に飾っていた門松やしめ縄飾りを持ち寄って燃やします。正月飾り等を燃やすことで、炎と共に年神様を見送る意味があるとも言われています。児童の交通安全を見守ってくれたダルマも焚き上げていただきました。また、書き初めで書いたものを燃やし、炎が高く上がると書の腕が上達するとも言われます。鉄のどんど焼きでも書き初めで書いた子どもたちの多くの書が見られました。年々鉄小の子どもたちも成長と共に腕を上げているに違いありません。この2ヶ所のどんど焼きでは、多くの保護者の皆様と児童にお会いしました。そこで、子どもたちは、地域の方々から温かく見守られて育てていただいていることを実感いたしました。

そして、もう一つ参加させていただきましたのは、23日、24日にくろがね文化会館で行われました地域作品展です。これは鐵神社の天神祭に合わせ、地域の方々が実施していただきます。地域の皆様の写真・絵や様々な作品と一緒に、鉄小も全校児童の書き初めを出品させていただいております。児童は、24日に学年ごとに鑑賞しました。地域の方々から励ましやお褒めの言葉をいただき、全員に参加賞のノートをいただきました。地域の作品展に児童全員の作品を飾っていただけることは、鉄の“まち”、そして鉄小ならではのことであり、私の教員生活の中で他に類を見ません。地域の皆様から大事にされている子どもたちは本当に幸せだと思います。そして、天神祭と言いますと、菅原道真の命日にちなんで25日前後に行われ、同時に筆供養が行われます。使い古した筆や鉛筆などを日頃の感謝を込め、焚き上げ、筆の上達、学力の向上を願います。ここでも先述のどんど焼きと同様に筆の上達と学問成就が願われ、地域の皆様が、鉄の子どもたちを大切に見守ってくださっていることの現れだと実感いたします。

このような地域行事が近年コロナ禍により、中止となったり、規模を縮小して行ったりしたものがあつたかと思いますが、今年こそは、完全な形で実施できることを願っています。今後とも鉄小の児童の健やかな成長を地域・保護者の皆様と学校が一体となり、ともに育んでくださいますようお願い申し上げます。